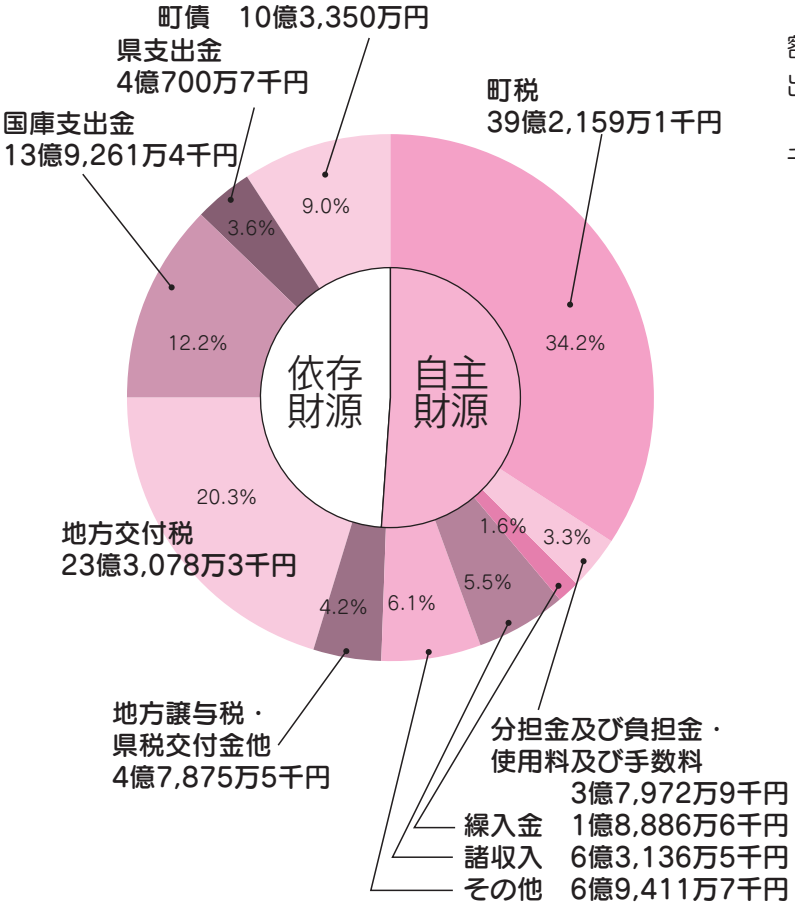
お知らせします！ 平成21年度 決算状況

平成21年度広陵町一般会計の歳入歳出決算は、歳入総額114億5,832万7千円に対し、歳出総額108億8,619万6千円で、差し引き5億7,213万1千円の「黒字」決算となり、翌年度に繰り越すべき財源1億1,556万7千円を差し引いた4億5,656万4千円が平成21年度の実質収支額となりました。

町では今後も、人員削減や事業の見直しなど行財政改革に取り組み、財政健全化を図りながら、「人にやさしい 人がやさしい 元気なまちづくり」を行っていきます。

町民の皆さん方の、より一層のご理解とご協力を、よろしくお願いします。

一般会計　歳入　114億5,832万7千円



歳入では、景気の低迷などに伴い町税などが減額となりましたが、国からの地方交付税や国庫支出金などで増額となりました。

歳入全体では前年度と比較して10億8,798万9千円の増額となっています。

（単位：千円・%）

歳入の項目		歳入決算額	構成比
自主財源	町税	3,921,591	34.2
	分担金及び負担金・使用料及び手数料	379,729	3.3
	繰入金	188,866	1.6
	諸収入	631,365	5.5
	その他	694,117	6.1
依存財源	地方譲与税・県税交付金他	478,755	4.2
	地方交付税	2,330,783	20.3
	国庫支出金	1,392,614	12.2
	県支出金	407,007	3.6
	町債	1,033,500	9.0
歳入合計		11,458,327	100.0

☆広陵町財政健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、財政健全化判断比率を策定しています。いずれの数値も早期健全化基準には至っていませんが、国の三位一体の改革などにより、財政はひっ迫していますので今後も行財政改革を推進してまいります。

（単位：%）

	広陵町の数値	早期健全化基準	財政再生基準	指標の概要
実質赤字比率	−	14.07	20.00	一般会計等が赤字か黒字かを判断する指標
連結実質赤字比率	−	19.07	35.00	全ての会計の合計額が赤字か黒字かを示す指標
実質公債費比率	20.3	25.0	35.0	標準的な収入に占める借入金の返済に充てた割合
将来負担比率	149.7	350.0		標準的な収入に占める借入金などの将来に負担しなければならない割合

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、いずれも黒字で健全であるため「−」で標記しています。